

二、争議団側

争議団側ハ其ノ後団体の復讐ナク約十名位ハ病氣其ノ他ニテ
 飯御シ気勢甚ク揚ラサルモ幹部ハ近ク解決ノ緒ニ就クマレト
 称シテ団員ヲ激励中ニテ格別ノ行動ナカリシモ本月十日午後
 三時三十分頃団員約四五十名ハ健康保険ノ問題ニ関シ交渉ス
 ルト称シ火拳工場ニ押シ寄セントシタルヲ以テ千任及寺島兩
 署ニ於テ警告ヲ加ヘテ代表者四名ヲシテ交渉ニ赴カシメ他ハ
 帰國セシメタルカ約四十分後再度工場ニ押シ寄セ気勢ヲ揚ケ
 タル為寺島警察署員ニ於テ解散ヲ命シ在記十一名ヲ検束セリ

岡田助雄(当廿七年) 吉澤幸之助(当廿七年) 淡路力藏(当廿六年)
 小川常吉(当廿七年) 佐野友城(当廿七年) 庄司健次郎(当廿四年)
 吉田榮藏(当廿四年) 内田政次(当廿三年) 栗原 武(当廿三年)
 杉洞三之助(当廿六年) 吉田鉄五郎(当廿二年)

追テ既報ニ場出入ノ人丈鬼塚幸ニ対シ全治ニ週間ノ傷害ヲ

其ハタル争議団員東屋喜代次ハ引續キ千任警察署ニ於テ取調
 中ノ起犯取事實明白トナリ本月九日東京區裁判所検事局ニ送
 致セリ

右又申(通) 報候也